



今こそ「ONE TEAM」となり、JR産業に集うすべての仲間の雇用と生活を守ろう

2021年 2月15日

日本鉄道労働組合連合会

J R 連 合 東 海 地 方 協 議 会 2 0 2 1 春 闘 討 論 集 会

加盟単組が一丸となった春闘にむけ意思統一

2月12日、JR連合東海地方協議会は2021春季生活闘争討論集会を開催し、職場から組織一丸となり、総力を挙げて力強く闘争を展開する意思統一を図った。なお、新型コロナウイルス感染症対策を徹底したうえで、オンライン参加を併用し、総勢約50名が参集した。

冒頭、丸山知章議長（JR東海ユニオン執行副委員長）が挨拶に立ち、足下の状況について「緊急事態宣言の再発令、そして延長がマイナス要因として大きく響いている」としたうえで、「東海地協に集う各単組においても一時帰休を伴う休業等を強いられており、雇用調整助成金の特例措置が非常に重要なものとなっている。すでに公表された緊急事態宣言解除後翌月末までの取り扱いなどについては、JR連合が実施した要請行動などの成果であり、これはこの間私たちが取り組んだ署名活動における22万筆以上の集約の成果でもある」と雇用調整助成金を巡る対応等について所感を語った。そして、2021春季生活闘争にむけては、「雇用を守り、生活を守ることを最優先に取り組まなければならない。アフターコロナにおいて事業を立て直す場面でも人財は不可欠である。『ONE TEAM』で統一闘争を展開しよう」と呼びかけた。



来賓挨拶、メッセージ披露が行われた後、課題提起としてJR連合の中村鉄平交通政策部長から「JR連合2021春季生活闘争の取り組みと課題」と題して、今春闘方針のポイント・背景等を説明した。これを受け、代表加盟単組としてJR東海ユニオン、貨物鉄産労、JR東海バスユニオンからの決意表明が行われた。

その後、集会アピールを読み上げて提起し、満場の拍手で採択。最後は丸山議長の団結がんばろうで締めくくり、オンライン参加者も含め全員で2021春季生活闘争を闘い抜く決意を固め合った。